



昨年、市内で救急車が現場に到着するまでの所要時間は平均7分44秒でした。現場に居合わせた人が、迅速に119番通報、適切な応急手当を速やかに実施することにより救命効果が向上します。



市消防署 救急係
995-0119

普通救命講習会

突然の病気や事故などで心臓や呼吸が止まってしまった方に対して一般の方が行える手当が救命処置です。市では、応急手当の重要性を理解していただくために2カ月に1回、一般の方を対象とした普通救命講習会を開催しています。

時 9月21日(土) 9時～12時

所 市消防庁舎3階災害対策室

対 中学生以上の方

定 30人(先着順)

申 所定の申込用紙に必要事項を記入し、消防署、茶畑分遣所、須山分遣所にお申し込みください。申込用紙は市ホームページからダウンロードできます。



救急隊による訓練展示

市民の皆さんに応急手当方法の習得と救急救命士による現場活動をPRするため、救急救命士による現場活動の訓練展示をします。どなたでも見学できます。

時 9月21日(土) 12時～12時30分(普通救命講習終了後に実施、今回のみ)

所 市消防庁舎 駐車場

※12時30分から、救急車両・資器材の説明を行います。

救急救命士の特定行為

心臓や呼吸が止まった方に対して、救急救命士が行える処置を特定行為といいます。以前は医師だけが行うことのできる医療行為でしたが、病院到着前に医師の具体的指示のもとで実施できることとなり、救命率は上昇しています。救急現場で特定行為を行いながら迅速に搬送するため、皆さまのご理解をお願いします。

特定行為には以下のものがあります。

1 器具を使用した気道確保

食道閉鎖式エアウェイ、ラリngeアルマスクを使用した気道確保または認定救命士による気管内挿管です。

2 静脈路確保

乳酸リンゲル液を用いて点滴を確保します。

3 薬剤投与

救急救命士にはアドレナリンの投与のみが認めら

れています。アドレナリンは心臓の筋肉の収縮を助け、心臓の血管を広げ、逆に皮膚などの血管を縮める働きがあります。生命を維持する為に必要な臓器に優先して血液を送ることができます。

気道確保に使用する器具
(喉頭鏡)

食道閉鎖式エアウェイ
(ラリngeルチューブ)



静脈路確保に使用する
(乳酸リンゲル液)

救急救命士が投与できる薬剤
(アドレナリン)